

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/12/23 Vol. 18 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

### 印西市議会/平成 15 年第 3 回定例会報告 ( 1 ) ～ シルバー人材センターを問う

いつもお世話になっております。印西市議会第 4 回定例会 ( 12 月議会 ) は、12 月 19 日 ( 金 ) にて、閉会しました。今回は、12 月定例議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思っております。

12/9 ( 火曜日 ) に、個人質問に立ちました。 以下、市当局の回答です。

#### 1. 行政改革実施計画について

市では、本年 4 月に「行政改革大綱 ( 第 2 次改定 )」に基づいて、行政改革実施計画を策定し、6 つの骨子と 34 の具体的な実施項目を掲げている。実施計画の内容について問う。

- 5 ) 計画的な財政運営の推進という実施項目があるが、例えば「シルバー人材センター」に対する補助金は適正な事務事業の進行管理とリンクした財源配分であると考えているのか。

( 回答 / 保険福祉部長 - 抜粋 - ) シルバー人材センターは平成 9 年 4 月発足以来、市内高齢者の雇用就業機会の充実を図ってまいりました。

その事業実績につきましては、設立以来、年々順調な伸びを示しているところでございます。また、事業運営に対しましては設立当初から運営費補助金として支援をしているところですが、今後におきましても、なお一層の普及啓発活動に努めていただき、会員の増強、就業開拓を行い市補助金に依存することなくシルバー人材センターの事業運営が自立化できるよう十分な事業収益が得られるように協議、指導を行ってまいりたいと考えております。

また、計画的な財政運営の推進につきましては、事務事業の適切な評価をし、補助金を交付して財政的な支援をするだけでなく、会員の方々の長年培ってまいりました知識や経験を、充分活かされるような就業開拓ができるよう指導してまいりたいと考えております。

( ぐんじとしのりより市民のみなさまへ )

今回の 12 月議会に先だって、ある方より手紙をいただきまして、今回はその内容を「行政改革」と絡めて一般質問にしました。そもそも、シルバー人材センターの理念とは、「現役時代に培った経験とノウハウを地元ビジネス社会に還元し、地域社会の発展に貢献すると共に、本人も老後に生き甲斐を感じる健全な高齢化社会を生きる」と言うものですが、いただきました手紙にはその経営内容についての疑問が書かれていました。

私は早速、平成 14 年度の決算資料からシルバー人材センターに関する部分を調査し、以下のような事がわかってきました。

**\* 印西市からシルバー人材センターへの補助金は、約 2000 万円 ( 年間 ) です。**

\* シルバー人材センターへの登録者数は 239 名です。職群別事業実績という欄に関して確認すると、技術群に登録している方は 14 名いるのですが、平成 14 年度に関しては、受託件数 0、就業延べ人数 0 です。( 理念はどうなっているのでしょうか )

\* 注目すべきは人件費です。( 裏面に記載。 )

収入の部		支出の部	
1.受託事業収入	¥ 68,740,369	1.事業費	¥ 68,346,339
2.会費収入	¥ 274,100	2.管理費	¥ 31,430,740
		2-1.人件費	¥ 27,940,630
		2-2.一般運営費	¥ 3,490,110
3.補助金収入	¥ 30,815,865	3.特定預金支出	¥ 1,263,000
3-1.県連合交付金	¥ 10,000,000		
3-2.市補助金収入	¥ 20,039,799		
4.雑収入	¥ 98	4.予備費	¥ 0
当期収入合計	¥ 99,830,432	当期支出合計	¥ 101,040,079
前期繰越収支差額	¥ 4,015,041	当期収支差額	¥ 1,209,647
収入合計	¥ 103,845,473	次期繰越収支差額	¥ 2,805,394

決算資料の中の人件費 2794 万 630 円 なぜ、こんなにかかるのでしょうか？  
職員数は、5 名です。(そのうち臨時職員は 1 名。)どのような運営を行っているのでしょうか？  
決算資料を読んでも、たいそうな事業をやっているとは思えない。

その一方で、手紙をいただいた方からは、以下のような悲鳴とも言える声があがってきています。  
「シルバー人材センター会員の 1 泊親善バス旅行が毎年企画されています。  
なぜか、会費が団体旅行にしては、他の旅行会社の企画商品と比べて割高である。  
たしか @ ¥ 30000 近いと思います。家族や年寄り仲間への土産を入れると年に一回とはいえ  
¥ 35000 以上の出費は年金高齢者には負担になります。参加しない人は異口同音に会費が  
高すぎる。何故、市からの補助はないのだろうか？」とっておられます。

**印西市はシルバー人材センターに年間 2000 万円以上も補助金をだしています。**  
なぜ、会員は恩恵に預かれないのでしょうか？

印西市はこの方の声をどう聞くのでしょうか？ 私は決算書を見る限りでは、自立化できるような十分な事業収益が得られるような運営は、人件費が適正であれば十分にできていると考えます。印西市では補助金に対して、どのような審査をしてきたのでしょうか？ 前記した部長の回答では「計画的な財政運営の推進につきましては、事務事業の適切な評価をし、補助金を交付して財政的な支援をするだけでなく、会員の方々の長年培ってまいりました知識や経験を、充分活かしかれるような就業開拓ができるよう指導してまいりたいと考えております。」とも述べていますが、私には「市役所も人材センターも何をやっているんだ？」としか思えません。市民の皆様はどのように思いますか？

(ぐんじとしのりから / 執行部への再質問) - 2000 万円の補助金は適正と考えるか？  
(回答 / 市長) 今後、補助金の割合を少なくしていただけるように協議して行く。

補助金の割合を少なくしていけばよいという問題ではなく、「適切に執行され、市民生活の向上につながる」のであれば、否定する理由などありません。今回、私は、補助金に関しては、「既得権益など断じてない。」こと、「こんな補助金、絶対に認めない。」ことを、議場で訴え、来年度の補助金の審議については適切に行うよう求めました。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。  
ぐんじとしのり